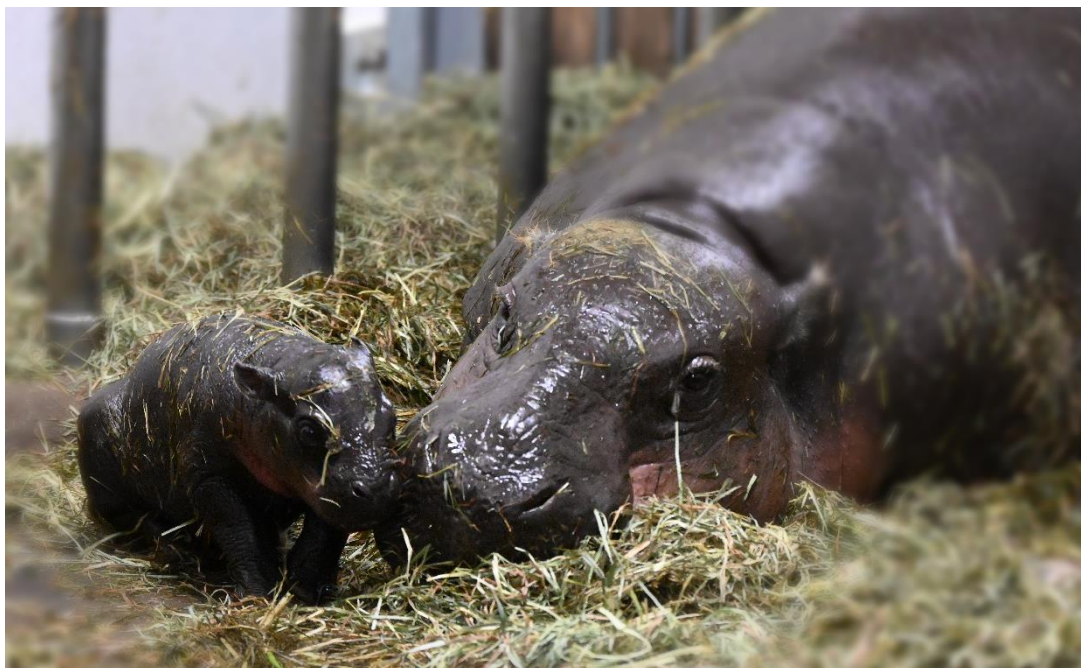


世界的に希少なミニカバの赤ちゃんが誕生！

本日8月18日(金)より、モニターで愛らしい姿をご覧ください

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2023年8月17日(木)午前2時3分に、世界的に希少な生きものであるミニカバの赤ちゃん(性別不明)が生まれました。母親の「フルフル」が常に寄り添って大切に育てており、誕生から2時間半後には授乳も確認でき、現在のところ順調に育っています。



ニフレルでは、「フルフル」が落ち着いた環境で育児できるように、2階「みずべにふれる」ゾーン内のミニカバ展示エリアのガラスを目隠ししており、親子の様子を直接ご覧いただくことはできませんが、本日8月18日(金)より、ガラス前に設置したモニターで、赤ちゃんの姿や愛らしい子育ての様子を、ライブ映像でご覧いただけます。なお、子育てが安定してから目隠しに少しずつのぞき窓を開ける予定ですが、赤ちゃんを直接ご覧いただける日程が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

また、本日より2階「ニフレルメイクス」にて、ミニカバ赤ちゃんへのお祝いメッセージを募集いたします。頂いたメッセージは、ミニカバ展示エリアのガラス面にスタッフが貼りつけ、赤ちゃんの健やかな成長と「フルフル」の子育てを一緒に応援していただきます。

ニフレルでミニカバの赤ちゃんが誕生するのは、2019年2月21日の「タムタム(オス)」、2021年6月18日の「テンテン(メス)」に続き3頭目です。

【ミニカバ親子の取材・撮影について】

ニフレルでは、母親の「フルフル」が警戒心を持たず、安心して子育てできるように、親子の姿を直接撮影することは当面お断りいたします。ご理解・ご了承のほどお願いいたします。

なお、ニフレルで撮影した赤ちゃんの画像や動画などをご提供可能です。

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

【今回誕生したミニカバの赤ちゃんについて】

《妊娠確認》2023年5月12日(エコー検査にて)

《誕生日》2023年8月17日(木)午前2時3分 2階「みずべにふれる」ゾーンのバックヤードで誕生

《性別》現在のところ不明

《大きさ》体長57cm、体重7.5kg(2023年8月18日時点)

《両親》母親:愛称「フルフル」(10歳。2012年12月17日にシンガポール動物園で誕生)

父親:愛称「モトモト」(10歳。2013年7月9日にチリのブイン動物園で誕生。現在は種の保存を目的に、恩賜上野動物園で暮らしています)



【ミニカバについて】

ミニカバは、絶滅の恐れのある希少な動物で、IUCN(国際自然保護連合)によると、西アフリカの限られた地域に、わずか2,000~2,500頭のみが生息しています。ワシントン条約の付属書IIに掲載され、世界的に保護されており、国内で飼育しているのは、今回誕生した赤ちゃんを含めて5園館13頭です。

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名称】NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所在地】吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】平日 10:00~18:00

土・日・祝 9:30~19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休館日】年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごぎにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)

ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交通】大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐車場】約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)